

生きもの

DE

すわ

令和5年5月12日発行
 文・写真・絵 生きもの集め隊 隊長 平野 邦好

こんなトンボが...

5月3日ビオトープの川の場所で、眼の青いイトトンボが飛んでいるのを見つけました。初めて見るトンボでした。調べてみると、「ホソミオツネトンボ」と分かりました。名前のオツネとは、越年のことで普通のトンボはヤゴや卵で冬を越すのに、このトンボは成体で冬を越します。きっと諏訪小学校や周りで寒い冬をじっと耐えていたのだと思うとまたびっくりしました。これはオスなので、メスと交尾してビオトープで卵を産んで増えてくれたらすてきですね。



こんなにトンボが...



4月16日ビオトープの池で大量のトンボの抜け殻を見つけました。クロスジギンヤンマのものです。全部でもありました。池ができて3年目ですが、こんなに多かったことはありません。このトンボは大食漢で、それだけ池の生物が豊富になった証拠だと思いましたが、他のトンボたちが羽化できていないので、少し考える必要があります。

5月3日にはもう産卵しに諏訪小学校の池に現れていました。

右の写真はわが家の池で産卵するクロスジギンヤンマです。池には大きな魚がいるので、諏訪小学校のように、たくさん羽化することはできません。



ビオトープで咲く花 春



「コブシの花」
ビオトープの一番奥にある高い木です。ビオトープのシンボルツリーとして植えたのだと思いますが…。
3/19 撮影

「シャガの花」
中国原産のアヤメの仲間です。強健で野生化しています。ビオトープでは川の部分に進出しています。よく見ると、とってもきれいです。4/6 撮影



「ミズキの花」
ビオトープ入り口にある大きな木で、木全体が花でおおわれています。ニホンミツバチが花粉と蜜を集めています。現在も咲いています。4/23 撮影

危険生物 注意してください!!

オオスズメバチが時々、ビオトープの池に水を飲みに来ています。危ないので振り払ったりせずに、静かに離れて、いなくなるのを待ってください。

